



上北谷 笑楽好 だより No.5

# チャレンジ通信

令和4年7月22日

～感染予防対策に、引き続きご協力をお願いします～

## 自慢できる夏休みの思い出づくりを

～お手伝いを通して、家族の絆を深め、子どもの生きる力を高めませんか～

校長 藤ノ木 昌史

72日間の1学期が終わります。大きな事故や病気がなく、子どもたちが元気に過ごせたことが何よりでした。皆様のおかげと感謝しております。



34日間の夏休みに入ります。数日

前から子どもたちの顔は、ウキウキした表情で溢れていました。「どんな夏休みにしてくれるかな。自慢できる夏休みの思い出を作ってほしいな」と思いながら、そんな子どもたちに接していました。

子どもの頃の夏休みの思い出というと…。私の実家は農家で、葉たばこを栽培していました。夏休みは収穫の時期で、その手伝いに明け暮れたことが思い出の一つです。かなりきつい作業でした。小学校低学年から大学生になっても手伝いをして(させられて)きました。今振り返ると、そのおかげで身に付いたこと、大人になって役立っていることがたくさんあると感じています。

手伝いの効用は様々なところで言われています。教育情報の調査・研究・発信をしているベネッセのサイトを見ると右のことが挙げられていました。子どもの生きる力を育むためによいことがたくさんです。

- ①親子のコミュニケーションを深める
- ②自主につながる
- ③責任感が身に付く
- ④自分で考える力が付く
- ⑤自己肯定感を育む



さて、先般、子どもたちと保護者の皆様に見附市の共通アンケートにご協力いただきましたが、その中のお手伝いについての項目を見ると、他の項目より顕著に低い傾向があることがわかりました。昨年も同様の傾向でした。

家事が効率化されたり、大人の手が十分にあったりして、子どもの手伝う機会が少なくなっているのかと考えます。

「子どもに手伝いをさせるとかえって手間が増える。忙しい中、大人がやった方が早い。」と手伝いの機会をなくしてしまっているなどということはないかと思いますが…。

この夏休み、子どものお手伝いを増やし、家の仕事を教えたり一緒にやったりしながら家族の絆を深め、子どものやる気や責任感、自主性を高める機会にしてみるのはいかがでしょうか。

自慢できる夏休みの思い出になると思います。

保護者：お子さんに、家庭での役割を担うために  
手伝いや仕事をさせていますか。

	全校
よくさせている	7%
たしなませている	50%
あまりさせていない	39%
させていない	4%

児童：1週間にどのくらい、家のお手伝いや  
仕事をしていますか。

	全校
たしなみ毎日	14%
週 4～5日	7%
週 2～3日	39%
ほとんどしてない	39%

<令和4年7月 見附市共通アンケート  
上北谷小の結果より抜粋>

# 7月の行事アルバム

7月7日(木) ふたば朝会 全校遊び



「全校で楽しく遊んで、より仲良くなる」と、児童朝会で全校遊びをしました。

今回は、5・6年生が企画した、「ドンジャンケン」というのをやりました。シンプルなジャンケンゲームですが、みんなで盛り上がり、楽しい時間を過ごすことができました。

10月には、3・4年生が企画して、又楽しい時間を全校で過ごします。

7月13日(水) 避難訓練



「大雨で洪水の危険が迫っている」という想定で訓練をしました。

集団下校をするため体育館に集合し、その後、水が溢れたので2階のホールに二次避難をする訓練でした。静かに、しっかり指示を聞き、素早く避難行動をすることができました。

その後、見附消防署の方から7・13水害の記録写真を見せてもらいながら、水害から命を守る行動の仕方を教えていただきました。

7月15日(金) 着衣泳



「もし、服を着たまま水の中に落ちてしまったら」と着衣泳を練習しました。

年1回、水泳授業の終わりに行っています。どうやって命を守るか。力を抜いて体を浮かせたり、浮きやすい物を使って、長く水に浮いたりする練習をしました。高学年になると、さすがに上手にできる人がたくさんいました。

夏休み中、児童に大きな事故や病気・けがなどが起きてしまった場合、また、新型コロナウイルスに感染又はその疑いがでた場合、ご連絡をお願いいたします。

詳しくは、「上北メール」で配信した内容をご確認ください。

◎ 平日 : 学校 電話0258-61-1150

◎ 夜間、休日・閉庁日 : ① 教頭 ② 校長(この順位で)

※ 学校は、8月9日(火)から16日(火)を閉庁日として、土日・祝日を含む間、無人化になります。ご承知ください

## 子どもの「こころ」に注意を

新型コロナウイルス感染症の流行が始まって3年。第7波の感染拡大が急速に進んでいます。

感染への不安、行動の抑制等が、大きなストレスとなって子どもの心にのしかかり、心身の調子を崩してしまう心配があります。また、昨今の社会不安の中で起きている衝撃的な映像に触れることによる心への影響も心配されています。子どもの様子、心の有り様には今まで以上に注意が必要です。夏休み明けに児童・生徒の自殺率が最も高くなるという統計データもあります。

夏休み中、「今までと様子が違う」というようなことがあったら、そのままにしないでください。令和3年度のものですが、相談機関を紹介するチラシを配付しました。もちろん学校に相談いただいても結構です。子どもをしっかりと見守ってあげてください。